

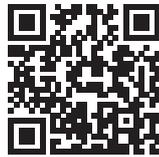
ハイブリッドエアコンプレッサー YS-DC990AD-10 バッテリー/AC電源共用

クイックガイド

★バッテリー、充電器は付属されていません。
別途お買い求めください。

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に
本ガイドとWEB取扱説明書を必ずお読みください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

詳細は
カラー版のWEB取説
をご覧ください



ハイガー株式会社はSDGs・カーボンニュー
トラルの取組の一環として、紙の取扱説明
書を大幅に削減いたしました。
どうぞご理解ください。



安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防
ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を見逃して、誤った使い方をしたときにおよぼす
危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は「死亡または重症を
負う恐れがある」内容です。

注意 この表示の欄は、「軽症、物的損害、故
障が生じる恐れがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明
しています。

このような絵表示は、してはいけない「**禁止**」
内容です。

このような絵表示は、必ず実行していただく
「**強制**」内容です。

日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

警告（製品に係る安全事項）

禁止		強制	
	本製品は、空気の圧縮のみにご使用ください。		本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよく 読み、理解したうえで正しく取り扱ってください。
	本製品に接続するエアホースやエアツールは、必ず 使用圧力の範囲内で使用してください。		電源は、必ず交流単相100V、定格15Aのコンセント または、指定のバッテリーを使用してください。
	改造、分解は絶対に行わないでください。安全性・ 信頼性が低下したり故障の原因になったりします。 また、当社の保証サービスは一切受けられなくなり ます。		使用しない時、点検、清掃時は、必ずコンセントから 電源プラグ、バッテリーを抜いてください。
	雨や水に濡れる場所では、使用しないでください。		使用前に部品に損傷がないか十分点検し、正常に作 動するか、また所定機能を発揮するか確認してくだ さい。
	日光が当たる場所では使用しないでください。		使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに 使用を中止し、点検、修理を行ってください。
	木くずやごみ、ほこりの多い場所では使用しないで ください。		部品交換は、純正部品を使用してください。
	揮発性可燃物、腐蝕ガスのある場所では使用しない でください。		破損した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に 従ってください。取扱説明書に指示されていない場 合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してくださ い。
	操作中は、子供を近づけないでください。操作者以 外、本製品へ近づけないでください。けがの恐れが あります。		修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な 性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因に なることがあります。

⚠警告（製品に係る安全事項）

 禁止	<p>エアタンクに空気を充填したまま、長時間、直射日光に当てたり、高温になる場所に置いたりしないでください。</p>	 強制	<p>可動部分の位置および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他動作に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。</p>
	<p>エアタンク内の圧縮空気を抜くときは、排出口に物を置いたり、身体を近づけたりしないでください。</p>		
	<p>圧縮空気を人や動物に向けて吹かないでください。</p>		
	<p>エアタンクに圧縮空気を充填したまま、エアホースを外さないでください。</p>		
	<p>運転中/使用直後は、モーター/シリンダー部及び配管部は非常に高温になっていますので、手を触れないでください。</p>		
<p>身体の調子が悪いときは、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。</p>	<p>使用するエアツールの最高使用圧力を超えないように使用してください。</p>		

⚠注意（製品に係る安全事項）

 禁止	<p>延長コードをやむを得ず使用する場合は、公称断面積2mm²以上のコードを10m以下で全て引き伸ばして使用してください。延長コードを点検し、損傷している場合には使用しないでください。</p>	 強制	<p>水平で安定している所でご使用してください。</p>
	<p>本製品で使用するコンセントを他の機器と一緒に使用しないでください。</p>		<p>運転中は、エアフィルタを必ず取付けてください。</p>
	<p>周囲温度が、40℃以上になる場所では使用しないでください。</p>		<p>ご使用後は、ドレンコックを開き、エアタンク内の圧縮空気、水を排出してください。</p>
	<p>強酸性、強アルカリ性の薬剤やシンナー、ガソリン、ベンジン等は絶対に使用しないでください。</p>		<p>圧縮空気に水分が混入する場合があります、塗装作業を行う場合は、ドレンフィルタを取り付けてください。</p>
			<p>作業に適した服装を心がけてください。防護めがね、防塵マスク、防音保護具を着用してください。</p>
			<p>子供の手の届かない安全で、乾燥した場所に保管してください。</p>

★バッテリー、充電器は付属されていません。別途お買い求めいただき、取扱説明書を必ずお読みください。

⚠警告（バッテリー、充電器に係る安全事項）

 禁止	<p>充電中は発生したガスに引火し爆発することがあります。火気を近づけず通気の良い場所で充電してください。</p>	<p>使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。</p>
	<p>必ず専用充電器で充電してください。自動車等の充電器を使用しないでください。</p>	<p>周囲温度が10℃未満、あるいは周囲温度が40℃以上ではバッテリーを使用・充電・保管しないでください。破裂や火災の恐れがあります。</p>
	<p>バッテリー、充電器を分解しないでください。</p>	
<p>バッテリーの近くで工具やその他金属を使用する場合、端子の接触、短絡に注意してください。感電や火災の発生の恐れがあります。</p>	<p>その他、詳細はご購入のバッテリー、充電器の取扱説明書をご覧ください。</p>	

⚠️ 注意（設置場所について）

 禁止	ガソリン、軽油、灯油、シンナー等、可燃性・揮発性の高い液体がある場所に設置しないでください。	直射日光の当たるところや暖房器具や温度上昇する機器の近くに設置しないでください。
	可燃性・腐食性ガスが発生している場所に設置しないでください。	周囲温度が、40℃以上になる場所に設置しないでください。
	水のかかる恐れのある場所や多湿となる恐れのある場所に設置しないでください。	塵やホコリがある場所に設置しないでください。



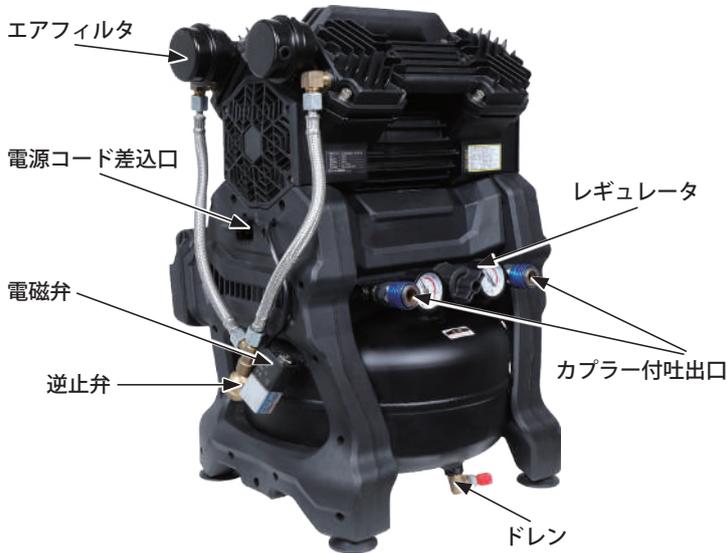
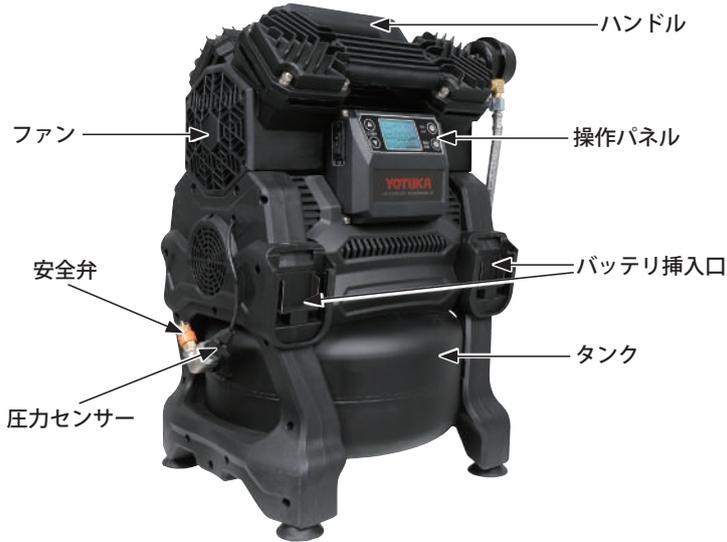
⚠️ 注意（暖機運転について）

起動時にすぐにエラーメッセージ「E02」が表示される場合があります。その場合は低速50%にし、エアツールでエアを出しながら、またはドレンでエアを出しながら暖機運転を5分程度行い、表示が消えてから作業を行ってください。
 ※暖機運転をする場合は、AC電源を推奨します。



各部の名称

※写真はプロトタイプのため本製品とは部品の形状、取付方法が変更になる場合や本体に取付済みの場合があります。



梱包部品一覧

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、全てのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。不足している場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

<p>A. 本体</p> 	<p>B. 電源コード</p> 	<p>D. シールテープ★</p>  <p>※吐出口にカプラーを取付ける際に、吐出口のネジ部に巻いてエア漏れを防ぐものです。</p>
<p>C. バッテリーアタッチメント×2</p> 		<p>E. エアフィルタ×2</p> 

★印はサービス品です。予告なく同梱終了になる場合があります。ご了承ください。

※上記はプロトタイプのため本製品とは部品の形状、内容物が変更になる場合や本体に取付済みの場合があります。

※カプラーや取付け部には緩み止めの接着剤が塗布してあるため、そのまま緩めたり締めたりしますと破損して使用不可となります。回す際は必ずヒートガンやバーナーなどで暖めて接着剤を柔らかくしてから回す必要があります。

主要諸元

モデル名	YS-DC990AD-10
電源 (AC電源)	交流100V 50/60Hz
電源 (バッテリー)	市販のリチウムイオンバッテリー (マキタ製バッテリー18V6.0Ah/ ハイコーキ製バッテリー18V6.0Ah) ※付属していません。
出力	1000W
消費電力	高速モード950W 低速モード715W
タンク容量	アルミタンク10L
最高圧力	0.90MPa
再起動圧力	0.80MPa
設定圧力	0.3 ~ 1.0MPa
吐出空気量	100L/min(0.6MPa時)
充填時間	タンク満タンまで 高速99%の場合：約40秒 低速50%の場合：約50秒
モーター	ブラシレスモーター
オイル	オイルレス
回転数	1,700min ⁻¹ (高速モード) 1,300min ⁻¹ (低速モード)
連続使用時間 (AC電源)	約40分 (使用環境による) ※使用した時間と同程度の時間を 休ませてください。
連続使用時間 (バッテリー)	最大約13分 (18V 6.0Ahのバッテリー を満充電にした場合) ※ 1
騒音	約75dB (高速モード) 約70dB (低速モード)

カプラー接続口	1/4インチ
吐出口数	2個（カプラー付き）
コード長さ	約2.35m

※ 1. 空のタンクを満タン（0.9MPa）にし、再起動がかかる0.8MPaまでエアの吐出し、最高圧力0.9MPaまで上がった後、再度0.8MPaまでエアの吐出しを繰り返した時の時間です。バッテリーの状態、エアツールにより連続時間は変わりますので、あくまで目安となります。

◎弊社は、顧客満足度100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

組立て

※写真はプロトタイプのため本製品とは部品の形状、取付方法が変更になる場合や本体に取付済みの場合があります。

エアホースの取付け

- 1 カプラー付吐出口にエアホースのプラグを真っ直ぐ挿入します。



- 2 「カチッ」と音がするまで挿入します。



- 3 エアホース側を引張り、抜けないことを確認します。

エアフィルタの取付け

⚠注意

- エアフィルタの取付けと取外しの際は、カバーのエッジで手を切らないようご注意ください。
- エアフィルタは必ず取付けてください。



- 1 取付穴にエアフィルタケースのネジ部を合わせ、時計回りに回し締付けます。



※カバー部分を持って強く締めすぎると破損しますので、最後の締付けはケース部分を持って締付けてください。



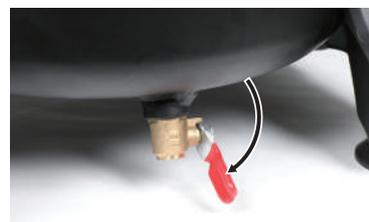
詳しくは、点検・整備の仕方「エアフィルタの交換」を参照ください。

エアホースの取外し

⚠注意

- 電源「OFF」の状態で行ってください。
- エアホースを抜く場合は、ホース内のエアを抜いてから行ってください。エアを抜かないで取外すと、ホースが勢いよく飛び出し危険です。
- このとき、ホース内のエアが完全に抜けきらない状態で行うと、エアホースが勢いよく外れる場合がありますので、完全にエアを抜いてください。

- 1 エアホースを抜く場合は、タンク下部にあるドレンコックをゆっくり開きエアを抜きます。



- 2 エアツールでホース内のエアを抜きます。

- 3 エアホースをしっかり保持しながらカプラーのリングをスライドさせるとエアホースが外れます。





取扱い

★バッテリー、充電器は付属されていません。別途お買い求めいただき、取扱説明書を必ずお読みください。

警告

- 充電中は発生したガスに引火し爆発することがあります。火気を近づけず通気の良い場所で充電してください。
- 必ず専用充電器で充電してください。自動車等の充電器を使用しないでください。
- バッテリー、充電器を分解しないでください。
- バッテリーの近くで工具やその他金属を使用する場合、端子の接触、短絡に注意してください。感電や火災の発生の恐れがあります。
- 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
- 周囲温度が10℃未満、あるいは周囲温度が40℃以上ではバッテリーを使用・充電・保管しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- その他、詳細はご購入のバッテリー、充電器の取扱説明書をご覧ください。

バッテリーの取付け

■使用可能バッテリー

マキタ製	リチウムイオンバッテリー18V 6.0Ahなど
------	-------------------------

- 1 バッテリーを上からスライドさせ、「カチッ」と音がするまで挿入します。



- 2 反対側もバッテリーを挿入します。



- 3 電源スイッチを下側「DC」にします。



- 4 操作パネルの液晶画面が表示されるか確認します。



注意

両側にバッテリーがしっかり挿入されていないと電源は入りません。

バッテリーの取外し

- 1 電源スイッチをOFF「○」にします。
- 2 バッテリーのボタンを押し、ロックを解除しながら上に引抜きます。



バッテリーアタッチメントの取付け

バッテリーアタッチメントを使用することで、ハイコーキ製のバッテリーが使用できます。

■使用可能バッテリー

ハイコーキ製	リチウムイオンバッテリー18V 6.0Ahなど
--------	-------------------------

※古いバッテリーを使用するとエラーコードE01が表示される場合があります。この場合は使用できません。

- 1 バッテリーアタッチメントを上からスライドさせ、「カチッ」と音がするまで挿入します。



- 2** 反対側もバッテリータッチメントを挿入します。



- 3** バッテリーを上からスライドさせ、「カチッ」と音がするまで挿入します。



- 4** 反対側もバッテリーを挿入します。



- 5** 電源スイッチを下側「DC」にします。



- 6** 操作パネルの液晶画面が表示されるか確認します。



⚠️ 注意

両側にバッテリーがしっかり挿入されていないと電源は入りません。

バッテリーの取外し

- 1** 電源スイッチをOFF「○」にします。
- 2** バッテリーの左右のボタンを押し、ロックを解除しながら上に引抜きます。



バッテリータッチメントの取外し

- 1** 電源スイッチをOFF「○」にします。
- 2** バッテリータッチメントの上部のボタンを押し、ロックを解除しながら上に引抜きます。



AC電源コードの取付け

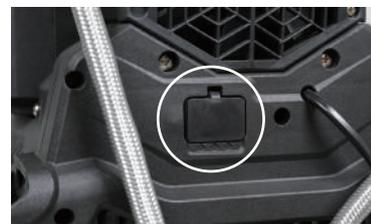
⚠️ 警告

濡れた手で電源プラグをコンセントに挿込まないでください。また濡れた場所で使用しないでください。感電の恐れがあります。

⚠️ 注意

- 使用後は、電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 動作中に電源プラグをコンセントから引抜いて停止させないでください。故障の原因になります。
- 本製品で使用するコンセントを他の機器と一緒に使用しないでください。

- 1** 本体側面のキャップを開きます。



- 2** AC電源コネクタを挿入します。



- 3** 電源プラグをコンセントに挿入します。

- 4 電源スイッチを左側「| |」にします。



- 5 操作パネルの液晶画面が表示されるか確認します。



⚠️ 注意

AC電源コネクタがしっかり挿入されていないと電源は入りません。

運転操作の仕方

操作方法

⚠️ 警告

- 濡れた手で電源プラグをコンセントに挿込んだり、バッテリーを触らないでください。また濡れた場所で使用しないでください。感電の恐れがあります。
- 安全弁のふき出し口の方向に注意してください。

⚠️ 注意

- 使用後は、電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜き、バッテリー使用時は本体から抜いてください。
- 動作中にコンセントやバッテリーを引抜いて停止させないでください。故障の原因になります。
- ネジの緩み、腐蝕、破損がないか、確認してください。緩みがある場合は締め直してください。
- 連続で使用した場合は、本体が冷えるまで（使用した時間と同じくらい）休ませてください。
- 本機にはモーター過負荷保護システムが内蔵されています。低電圧または過負荷などで、保護システムが作動して本機が停止したときは、電源スイッチを「OFF」にし、モーターが冷えるまでしばらくお待ちください。
- 周囲温度が、40℃以上になる場所では使用しないでください。
- 延長コードをやむを得ず使用する場合は、公称断面積2mm²以上のコードを10m以下で全て引き伸ばして使用してください。
- 延長コードを使用する前に点検し、損傷している場合には使用しないでください。
- 本製品で使用するコンセントを他の機器と一緒に使用しないでください。

本製品を使用する際は、直射日光の当たらない日陰で風通しの良いところで作業を行ってください。

■ 電源スイッチについて

感電事故防止のため、必ずアースをしてください。

- 1 電源スイッチの左側「| |」はバッテリーを使用する際に押します。



右側「| |」はAC電源を使用する際に押します。中央の「○」は電源OFFです。



■ 操作パネルについて

- ④ 圧力設定ボタン ⑤ 設定圧力 ⑥ 現在の圧力 ① 電源ボタン



- ③ 高速 (99%) / 低速 (50%) ⑦ 累計時間 ② 高速 / 低速ボタン

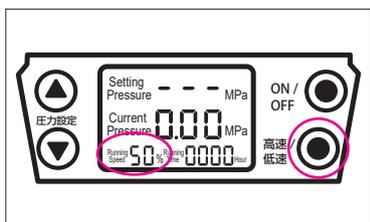
① 電源ボタン	押すごとに「ON」「OFF」を交互に行います。
② 高速/低速ボタン	ボタンを押すごとに、「大きい出力 99% (高速)」「小さい出力 50% (低速・静音)」に③の表示が変わります。
③ 高速 (99%) / 低速 (50%)	② 高速 / 低速ボタンを押すごとに、「大きい出力 99% (高速)」「小さい出力 50% (低速・静音)」に切替わります。
④ 圧力設定ボタン	押すごとにタンク内圧力を0.3MPaまでは0.02MPa単位で、0.3MPaからは0.05MPa単位で設定ができます。(0.14 ~ 0.9MPa)
⑤ 設定圧力	設定した圧力が表示されます。
⑥ 現在の圧力	現在の圧力が表示されます。
⑦ 累計時間	電源プラグをコンセントに挿込むと15分単位で累積され、1時間累積で「0001」とカウントされます。(使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。) ※本体にメモリー機能がありますが、長期間使用されない場合は累計時間がリセットされることがあります。また、「9999」まで達した場合は、累積機能は停止しますが、その他の機能は通常通り使用可能です。任意にリセットはできませんので、累積時間機能を必要とする場合は、液晶モニターの交換が必要となります。

■ 始動手順

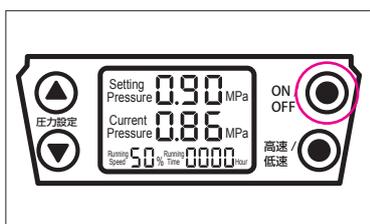
- 1 使用するエアツール類を吐出口に取付けます。
- 2 アースを接続し、電源プラグをコンセントに挿入します。コンセントは単独でご使用ください。
- 3 液晶画面が明るくなり、機器の初期化が始まります。約5秒後、運転開始の準備が完了します。



- 4 操作パネル上の高速/低速ボタンを押し、低速(50%)にします。



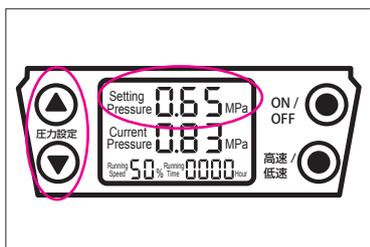
- 5 操作パネル上の電源ボタンを押すと、モーターが始動します。



初めてご使用になる場合や寒い時期は低速(50%)にし、エアを満充填したら、5分程度エアツール等でエアを吐出し続けるかドレンコックを緩めて吐出し続けて暖機運転をします。

※暖機運転をする場合は、AC電源を推奨します。

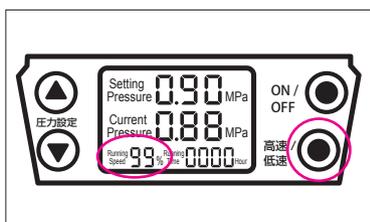
- 6 動作中に、圧力設定ボタン(▲または▼ボタン)を押して、タンク内の圧力を設定します。設定値は液晶画面の「Setting Pressure」に表示されます。



⚠注意

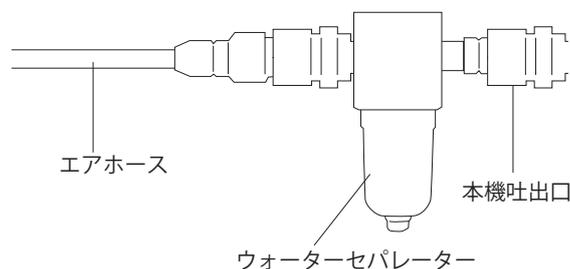
圧力設定後しばらく放置すると、0.05MPa程度は徐々に減圧される場合がありますが、正常な現象につき、故障ではありません。

- 7 高速/低速ボタンを押し、高速(99%)にします。低速(50%)で使用する場合はもう一度ボタンを押します。



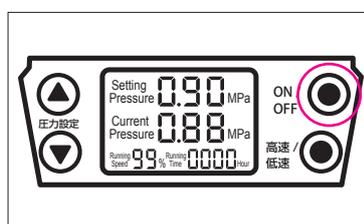
👉 エアツールから水が出る

空気中には水分が含まれおり、その空気をタンクに貯め、吐出すると水が吹き出ます。これは正常な現象です。これを防ぐには、市販のウォーターセパレーターを使用することで水分を除去できます。



■ 停止手順

- 1 操作パネル上の電源ボタンを押すと停止します。



- 2 電源プラグをコンセントから抜きます。

⚠注意

- 電源コードを引っ張って電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 電源ボタンを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜くと、エラーメッセージ「E01」が表示されることがありますが、故障ではありません。

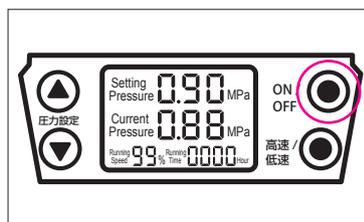
作業を終了する場合

⚠注意

使用後は必ずエアホースを本体から取外してください。怠ると、逆止弁に水分が付着しサビが出て使用できなくなります。



- 1 操作パネル上の電源ボタンを押すと停止します。



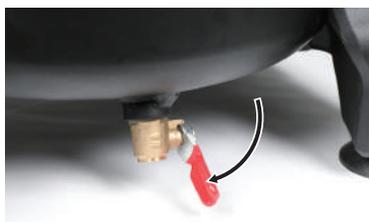
2 電源プラグをコンセントから抜きます。

3 エアホース内のエアを抜きます。
※エアを抜かないと、外した時にホースが勢よく飛び出し危険です。(抜き方は組立て「エアホースの取外し」参照)

4 タンク下部にあるドレンコックをゆっくり開き、タンク内の圧縮空気を放出すると同時に、水抜きを行います。



この水抜きは、毎回行ってください。
※タンクを傾けて水を出し切ってください。



5 水抜き終了後は、ドレンコックを閉じます。

レギュレータの使用方法

本機にはレギュレータが付いており、空気の吐出量を調整することができます。ダイヤルを回すことで圧力を高くしたり低くしたりします。



1 左のメーターはタンク内の圧力を表示します。



※メーターの目盛りは、内側の数字を見ます。
例えば内側の数字「8」は800kPa(キロパスカル)を表し、MPa(メガパスカル)に置き換えると「0.8MPa」となります。写真は、0.6MPaあたりを指しています。

2 右のメーターは空気吐出量を表示します。レギュレータを回すことで吐出量を調整できます。



時計回りに回すと、吐出量が増えて、最大まで回すと全開になります。反時計回りに回すと、吐出量が減って、最大まで回すと吐出しなくなります。

エアフィルタについて

振動等により、エアフィルタが緩む場合があります。その場合は締直してください。

1 エアフィルタを持って揺らすとグラグラする場合は緩んでいます。



2 締付けはケース部分を持って締付けてください。

⚠注意

- エアフィルタを取付け取外しの際は、カバーのエッジで手を切らないようご注意ください。
- エアフィルタは必ず取付けてください。



電磁弁について

一定以上の圧力がかかり、モーターが停止した時にシリンダー内の空気が排出されます。



安全弁・圧力センサーについて

安全弁はタンク内やホース内の圧力の上がりすぎによる破裂を防ぐために、一定以上の圧力になると自動で圧縮空気を排出します。(最大設定圧力1.35MPa)



また、圧力センサーはタンク内の圧力を検知し、運転を制御する装置です。

※安全弁は定期的に動作確認をしてください。その場合は、エアを抜いた状態で行ってください。

点検・整備の仕方

お買い求めいただきました製品を安全にご使用いただくために、定期的に点検を実施してください。

⚠注意

- 点検整備をするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。バッテリー使用時はバッテリーを抜いてから行ってください。
- 作業中に始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。
- 点検整備後は、すべての部品を確実に取付けたことを確認してください。

エアフィルタのエLEMENT清掃

エアフィルタが目詰まりを起こしていないか点検し、定期的に清掃してください。

- 1 エアフィルタを本体から取外します。
- 2 エアフィルタのカバーを時計回りに回して取外します。

⚠注意

- ELEMENTを取外す際は、カバーのエッジで手を切らないようご注意ください。
- カバーが外れにくい場合は、ツメ部分をラジオペンチ等で少し曲げると外れやすくなります。取付完了後はツメ部分を忘れずにもとに戻してください。



- 3 ELEMENTを取出します。



- 4 ELEMENTの内側から圧縮空気を吹きつけて汚れを落とします。

⚠注意

ELEMENTは水洗いしないでください。

- 5 取外したときと反対の手順で組立ててください。
※ELEMENTの汚れがひどい場合は、新しいフィルタと交換してください。

エアフィルタの交換

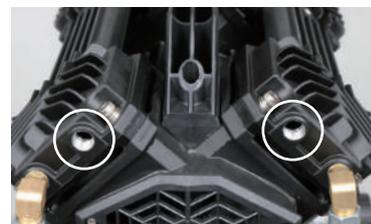
エアフィルタが破損した場合は、エアフィルタの交換を行ってください。

⚠注意

- ELEMENTを取外す際は、カバーのエッジで手を切らないようご注意ください。



- 1 エアフィルタを反時計回りに回し取外します。



- 2 新しいエアフィルタを時計回りに回し取付けます。



各部の取付けネジの点検

エアフィルタの緩み、ネジの緩み、腐蝕、破損がないか、確認してください。緩みがある場合は締直してください。

修理について

運転中に異常がありましたら、運転を中止し、お買い上げの販売店または弊社までお問合せください。

お手入れの仕方

作業後はお手入れをすることで、本製品は長くお使いいただけます。

水を抜く

⚠️注意

作業後は毎回必ずエアホース内のエアを抜き、エアホースを取外してください。また、タンク内の水抜きをしてください。水抜きをしないと、故障の原因になります。

1 エアツールからホース内のエアを抜きます。

2 エアホースを取外します。

3 タンク下部にあるドレンコックをゆっくり開き、タンク内の圧縮空気を放出すると同時に、水抜きを行います。
※タンクを傾けて水を出し切ってください。



逆止弁の清掃

運転停止中に電磁弁からエアが漏れる場合は、逆止弁の清掃を行ってください。



1 19mmのスパナでボルトを取外します。



2 水分やゴミ等を取除きます。



3 清掃が終わりましたらもとに戻しエア漏れがないが確認してください。

※詳細はWEB取説をご覧ください。

保証内容について

2025.10 現在

本規約は、ハイガー(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。

弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますので安心ください。

返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヵ月といたします。

保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。

商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。

・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。

・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。

・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

(1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合

(2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合

(3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合

(4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合

(5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合

(6) 弊社が認めていない改造をされたもの

(7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの

(8) 注意を怠った結果に起きたもの

(9) 薬品、雨、雪、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの

(10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)

(11) 機能に影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)

(12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品

(13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギャ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、パネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)

(14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等

(15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡ください。

またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。

症状・使用状況を伺い、手続方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。

・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。

・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。

・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。

・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。

・無在庫転売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。

また発算次第転売者への措置を取らせていただきます。

■アフターサービスについて■

1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。

2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。

3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。

4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。

5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。